

部活動の活動方針

銚子市立椎柴小学校

校長名 寺本 貴幸

教育目標

- 1 学校教育目標
「やさしく かしく たくましく」
～豊かな心、確かな学力、健やかな体をもった椎柴っ子の育成～
- 2 学校教育目標と部活動との関連
 - (1) ねらい
・学校教育目標である健やかな体の育成
 - (2) 部活動の教育的意義
・体力の向上や健康の増進につなげる。
・集団の中で社会性(責任感・協調性など)を培う。
・自ら率先して練習に取り組む姿勢や諦めずやりぬく姿勢を育む。

部活動の基本方針

- (1) 適切な指導
本校では、児童の発達段階に応じた指導を心がける。児童は、中高学年期間において心身ともに発達する時期を迎える。この時期に、過度なる練習を課してしまうと怪我や成長の沈滞などにつながる恐れがある。そのため、児童の発達段階に応じた適度な練習量と指導内容を考える。
体罰やハラスメントの根絶に向け、次のことを共通理解して指導する。
 - ①常に複数の教員を配置する。
 - ②体罰は人権尊重の精神に反するので、絶対にしない。
 - ③異性に対し、身体的な接触はしない。
 - ④高圧的な態度で指導はしない。以上の認識のもと、全職員で体罰やハラスメントの根絶を徹底する。
- (2) 適切な活動時間
・平日の活動時間は2時間程度とし、土曜日及び日曜日を含む学校の休業日は3時間程度とする。
・学期中は、平日は2日(月曜日・木曜日)、週末は日曜日の休業日を設ける。
・夏季休業中は、部活動を実施しない。
・活動期間は1・2学期とし、学力検査のある3学期は、学業に専念させるため、部活動を休止する。
- (3) 事故防止
 - ①怪我や熱中症対策
・活動前後の健康観察と活動中の観察を欠かさず行い、記録簿に記録する。
・活動前と活動中、活動後のグラウンドや体育館内の気温を測る。気温が高い場合は、こまめな休憩と水分補給を通常練習より多く行うようにする。また、具合の悪い児童が出た場合は、すぐに保健室で休ませ、保護者に連絡をとるなど、職員が協力して早急に対応する。
・施設・設備の点検も月に1度行い、使用している施設・設備に不備がないか確認する。不備があった場合は、早急に修繕する。
 - ②感染症対策
・活動前に検温・健康観察を十分に行い、体調の優れない児童は活動に参加させない。活動後も検温・健康観察を行い、児童の健康を確認する。
・活動前後や休憩時間の手洗い・うがいを励行する。
・感染症の流行する恐れのある場合は、屋内・屋外でもマスクを着用し、児童が密集・密着することを避けるため、児童同士の間隔を2m以上あける。(マスクの着用については、児童の体調や気象状況等を十分考慮して対応する)
・屋内で活動する場合は、換気を十分に行う。
・使用する用具・器具に関しては消毒をこまめに行う。
- (4) その他
・各部活動の活動開始前に保護者に参加希望をとる。
・保護者と連携を図るために、月間計画を月初めに配付する。また、大会結果については、大会後に部活動だよりを通して報告する。
・合唱部も同様の方針とする。

